

項目	rete	内容	基準	備考	
Operations					
建物	7	建物の運用とメンテナンス	<p>既存建物用LEEDのどの段階を取得できているか</p> <p>以下の項目に適合したサステナブルな運用とメンテナンスのガイドラインを持っているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺敷地への影響 ・エネルギーの消費量 ・環境に好ましい材料の使用 ・室内環境の品質 ・水消費量 	<p>建物のカテゴライズ:</p> <p>LEED以外の基準に適合=2.625 LEEDの基準に適合=3.5 LEED Silverの基準に適合=4.375 LEED Goldの基準に適合=5.25 LEED Platinumの基準に適合=7</p> <p>スコア:延床面積の上記加重値を総延床面積で除した数字</p>	
	4	建物デザインと建設	<p>新築、大規模回収用LEEDのどのレベルを取得しているか</p> <p>以下の項目に適合した環境配慮型建築のガイドラインを持っているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺敷地への影響 ・エネルギーの消費量 ・環境に好ましい材料の使用 ・室内環境の品質 ・水消費量 	<p>建物のカテゴライズ:</p> <p>LEED以外の基準に適合=1.5 LEEDの基準に適合=2 LEED Silverの基準に適合=2.5 LEED Goldの基準に適合=3 LEED Platinumの基準に適合=4</p> <p>スコア:延床面積の上記加重値を総延床面積で除した数字</p>	
	2	室内の空気環境	<p>室内の空気環境の管理に関する方針、経過を持っているか</p> <p>利用者の苦情を聞くためのメカニズムや環境モニタリングを行っているか</p>	<p>総延床面積あたりの室内空気環境の管理に関する方針のある延床面積の割合</p>	
気候	2	温室効果ガス排出一覧	<p>温室効果ガス排出について一覧があるか</p>	<p>Scope1(直接的な温室効果ガス排出)とScope2(間接的な温室効果ガス排出)についての温室効果ガス排出一覧を管理しているか</p> <p>Scope3(出張、旅行などで排出される温室効果ガス)についての温室効果ガス排出一覧を管理しているか</p>	<p>Scope1:直接的な温室効果ガス排出 Scope2:電力、蒸気などの購入による間接的な温室効果ガス排出 Scope3:Scope2以外の間接的な温室効果ガス排出。Ex.製品生産時や所有していない交通機関の利用時、廃棄物処理時など</p>
	14	温室効果ガス排出削減	<p>温室効果ガスの排出削減をしているか</p>	<p>キャンパスユーザー当たりのScope1,2に関する温室効果ガス排出量を2005年のベースラインと比較する</p>	<p>キャンパスユーザーのカテゴライズ: キャンパス内の居住者=1 非キャンパス内居住者の常勤の教職員、学生=0.75 非キャンパス内居住者の非常勤教職員、学生=0.5</p>
	0.25	航空機利用時のガス排出		<p>大学が航空機利用時のガス排出の削減のための場所の要項かプログラムを持っているか</p>	
	0.25	地元のカーボンオフセットプログラム		<p>地域社会で温室効果ガス排出削減するプログラムの実行によるカーボンオフセットを通じて、地元のカーボンオフセットプログラムを大学が持っているか</p>	

項目	rete	内容	基準	備考		
Operations						
エネルギー	施設におけるエネルギー消費	8	施設のグロスの床面積当たりのエネルギー使用量を選らしているかどうか	グロスの床面積当たりのエネルギー使用量を2005年のベースラインと比較する		
	クリーンエネルギーと再生可能エネルギー	7	クリーンエネルギーや再生エネルギーを利用しているか	1)クリーンで再生可能エネルギーを使った発電所からの電気を使用しているか 2)電気ではない現地でのエネルギー生成のため再生可能エネルギーを使用しているか 3)別の場所でのクリーンで再生可能エネルギーの構築を大きな変化をもたらしているか 4)再生可能エネルギー証書の形で電気的环境属性を購入しているか 5)より効率的に発電するためにコージェネの技術を使用しているか	左記エネルギーのカテゴリー 1)=7 2)=7 3)=7 4)=1.75 5)=1.75 スコア:左記エネルギーの上記加重値を総エネルギー消費量で除した数字	
	温度コントロールのためのタイマー	0.25		少なくとも一つのビルで利用時間に基づいて温度調節のタイマーを使用している		
	照明センサー	0.25		少なくとも一つのビルで、照明の省エネルギーのためにモーションセンサーや赤外線センサー、光センサーを使用している		
	LED照明	0.25		少なくとも照明の1システムで、LED照明が使用されている		
	自動販売機のセンサー	0.25		少なくとも一つの自動販売機で、自動販売機のモーションセンサーがインストールされている		
	エネルギー管理システム	0.25		中央の複数の建物におけるエネルギー消費とパフォーマンスを追跡できるようにする中央集中型のエネルギー管理システムを使用している		
	メーター	0.25		少なくとも一つのビルに、すべてのエネルギー消費を計れる		
	グラウンド	総合的な害虫管理	2	キャンパスのグラウンドの総合的な害虫管理の持続可能性を向上させているかどうか	キャンパスのグラウンドの中で総合的な害虫管理をするグラウンドが占める割合	総合的な害虫管理については以下の4段階のアプローチを守る 1)活動の基準値の設定 2)害虫のモニタリング、識別 3)保全 4)コントロール
		自生植物	0.25		自生植物種を優先的に使用している	
野生生物		0.25		大学が所有する土地で、野生生物の生息地を保護、または生み出すためのプログラムを持っています。		
除雪		0.25		除排雪について、環境への影響を少なくする技術、あるいは戦略を実行している		
コンポスト		0.25		草刈も含めた土のメンテナンスから出た廃棄物を堆肥化、あるいは根の覆いなどに利用している		

項目	rete	内容	基準	備考	
Operations					
交通計画	キャンパスの車両について	2	よりクリーンな燃料や燃費のよい車両を使っているか	<p>全体の車両の中で占める以下の車両の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド車両 ・プラグインハイブリッド車両 ・天然ガス車両 ・水素自動車 ・バイオディーゼルを混合率20%以上の燃料使用の車両 ・バイオエタノールを混合率85%以上の燃料使用の車両 	
	学生の通学手段	4	学生がより望ましい方法で大学に通学しているか	<p>サステイナブルな方法での通学者の割合(徒歩、自転車、カープールの利用、公共交通機関、バイク、スクーター、構内循環バス、またはこれらの組み合わせでの通学)</p>	
	職員の通勤手段	3	職員がより望ましい方法で大学に通勤しているか	<p>サステイナブルな方法での通勤者の割合(徒歩、自転車、車やマイクロバスの相乗り、公共交通機関、バイク、スクーター、構内循環バス、またはこれらの組み合わせでの通勤)</p>	
	自転車の共有	0.25		自転車共有するプログラムがあるか	
	自転車利用者の施設	0.25		少なくとも一つのビルに自転車利用者のための安全な室内の自転車置き場、シャワーやロッカーがあるか	
	自転車計画	0.25		キャンパスマスタープランに自転車にもっとやさしいキャンパスになるための自転車の計画があるか	
	全体の交通	0.25		無料あるいは割引のバスの提供、あるいは無料の構内循環バスを運営しているか	
	集中作業週	0.25		職員のための集中作業の週がオプションとしてあるか。	
	在宅勤務	0.25		職員の在宅勤務制度があるか	
	車やマイクロバスの相乗り	0.25		車やマイクロバスの相乗りについてマッチした制度があるか	
	有料駐車場	0.25		通勤者が有料駐車場の利用ができるか	
	車の相乗り利用者に対する割引	0.25		車やマイクロバスの相乗りの利用者に対して、駐車料金を割引しているか	
	地元の住宅	0.25		職員にキャンパスの近くに住むことを奨励するプログラムやインセンティブがあるか	
	アイドリングの禁止	0.25		アイドリング禁止の要項があるか	
カーシェアリング	0.25		大学がカーシェアリングのプログラムに参加しているか		

項目	rete	内容	基準	備考	
Operations					
廃棄物	5	時間の経過と共に廃棄物の発生を減らしているか	キャンパスユーザー当たりの廃棄物量(生ごみ、リサイクル、堆肥化)を2005年のベースラインと比較する	キャンパスユーザーのカテゴリライズ: キャンパス内の居住者=1 非キャンパス内居住者の常勤の教職員、学生=0.75 非キャンパス内居住者の非常勤教職員、学生=0.5	
	3	リサイクルや堆肥化によって資源を保護し、廃棄物を減らしているか	全廃棄物量中、リサイクル、リユース、堆肥化などによって埋め立てや焼却を免れた廃棄物量の割合		
	1	建設や解体時の廃棄物を再利用などしているか	建設や解体時に出される全廃棄物量中、リサイクル、リユースなどによって埋め立てや焼却を免れた廃棄物の割合		
	1	大学が電気廃棄物のリサイクル、リユースのプログラムを持っているかどうか	大学から出された全ての電気廃棄物のリサイクル、リユース、あるいは一新させる場所のプログラムがあるか 学生から出された全ての電気廃棄物のリサイクル、リユース、あるいは一新させる場所のプログラムがあるか	左記の要件を満たしているならば、各々0.5ポイントずつ獲得できる	
	1	全ての危険な、普遍的な、及び非規制化学廃棄物を安全に処分、あるいは最小限に抑えているか	全ての危険な、普遍的な、及び非規制化学廃棄物を安全に処分する、あるいはこれらの材料がキャンパスに出ることを最小限に抑えるための場所の戦略を持っているか		
	0.25	材料の交換	材料の再使用を促進する交換プログラムを行う正式な部門があるか		
	0.25	印刷の制限	学生に対して、全てのコンピューター、研究室、図書館での自由な印刷を制限しているか		
	0.25	オンラインでの閲覧	初期設定で、課程のカタログ、課程のスケジュール、および住所録を印刷せずに、代わりにこれらの閲覧はオンラインで出来るか		
	0.25	化学物質の再使用一覧	研究室の化学物質の再使用を促進するための全学一貫システムを実施しているか		
	0.25	入居時の廃棄物の削減	学生寮入居時の廃棄物を削減するためのプログラムを持っているか		
	0.25	退去時の廃棄物の削減	学生寮退室時の廃棄物を削減するためのプログラムを持っているか		
	水	7	水の総使用量を減らしているかどうか	キャンパスユーザー当たりの総水消費量を2005年のベースラインと比較する	キャンパスユーザーのカテゴリライズ: キャンパス内の居住者=1 非キャンパス内居住者の常勤の教職員、学生=0.75 非キャンパス内居住者の非常勤教職員、学生=0.5 2005年のベースラインと比べて30%以上、水使用量を減らしていると7ポイント獲得できる
		2	雨水流出や水質汚染を減らすためのプログラムがあるかどうか	新規の建設、大規模な改装など雨水流出の影響を軽減する戦略や雨水管理の方針があるかどうか。 継続しているキャンパス運営の中で雨水流出の影響を軽減する戦略や雨水管理の方針があるかどうか。	左記の要件を満たしているならば、各々1ポイントずつ獲得できる
0.25		水を使用しない小便器	少なくとも一つ、水を使用しない小便器が使用されているか		
0.25		建物の水道メーター	少なくとも一つの建物では、建物レベルでの水道メーターが設置されているか		
0.25		非飲料水の使用	灌漑、または他の目的で非飲料水を使用しているか?		

STARSの評価項目(Operations)

項目	rete	内容	基準	備考
Planning, Admin. & Engagement				
調整と計画	3	キャンパスでのサステイナブルな仕事をコーディネートするために、事務局が理事会によって命じられた委員会、オフィス、コーディネーターがいるか	左記の基準を満たすための委員会、オフィス、職員がいるか	
	6	戦略計画に含めることによって、持続可能性への正式な、実質的な公約を行っているか	経済的、社会的、環境的側面の高レベルなサステイナビリティの戦略計画があるか	各側面の戦略計画があると、各々2ポイントずつ獲得できる
	4	キャンパスマスタープランにおいて上位レベルでの原則を含めることによって、サステイナビリティと物理的なキャンパスの開発と維持に関する項目を、大学として正式な公約にしているのか	左記の基準を満たすキャンパスマスタープランがあるか	
	3	サステイナビリティへ向かう包括的な計画を策定しているか	教職員、学生の考えを含めて計画を策定しているか。また、この計画には、目標を達成するために一致した戦略とタイムスケジュールの測定可能な目標を含んでいるか	
	2	温室効果ガスの排出削減の公式な戦略を策定しているか	温室効果ガス排出削減のための公式な計画があるか。その計画には、測定可能な、または数字の目標、あるいは目標の達成を目指すタイムスケジュールが含まれているか。	

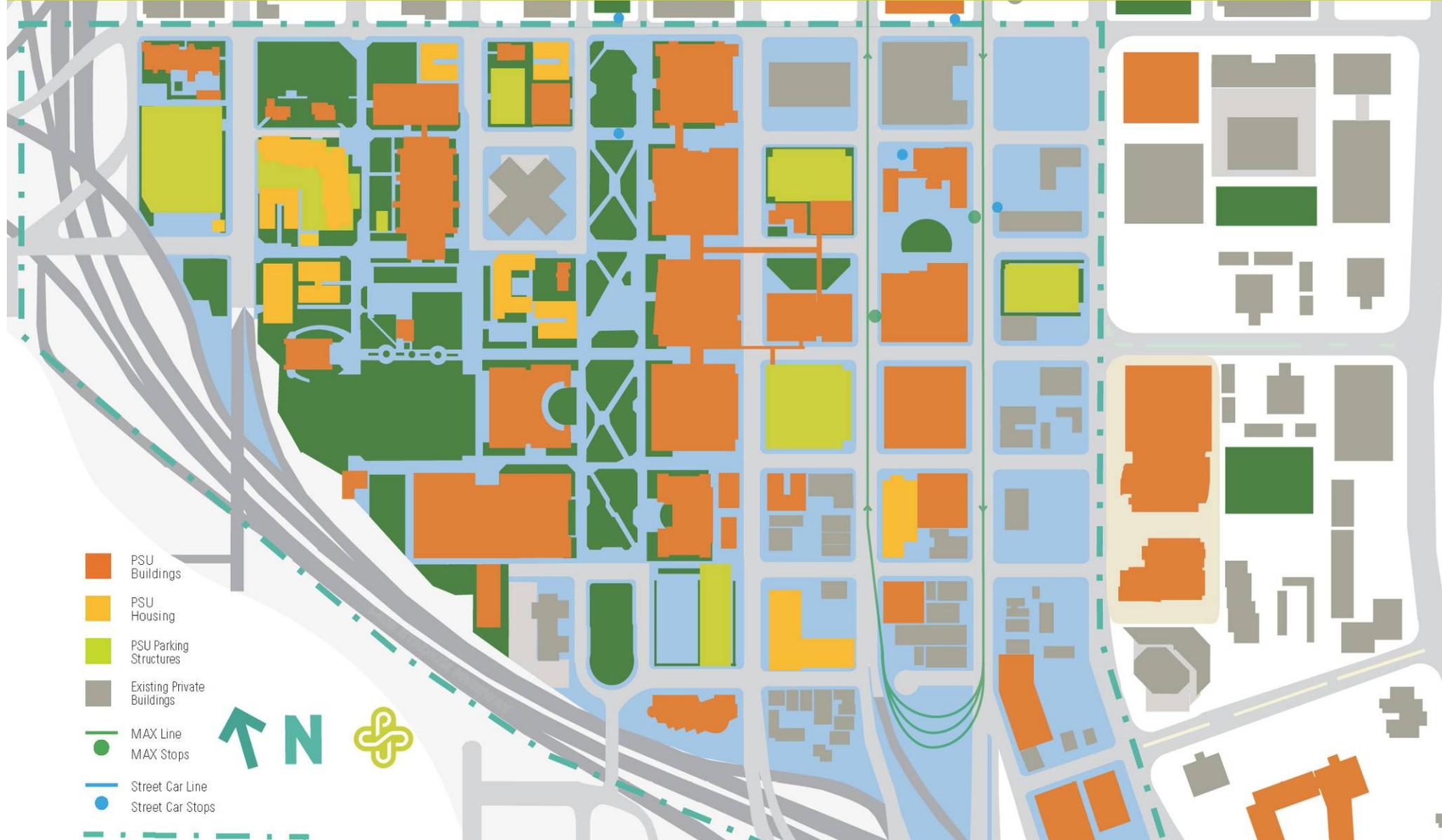
項目	重率	内容	基準	備考	
Planning, Admin. & Engagement					
社会受容 — 市民参加 —		地域のサステナビリティに関する協働	2	サステナビリティを進めるために地域コミュニティとパートナーシップを構築しているか コミュニティのサステナビリティを進めるために協働する公式なパートナーシップを地域コミュニティ(学校、地方行政、政府機関、NPOを含む)と組んでいるか	
		サステナビリティに関する大学間の協働	2	幅広くキャンパスサステナビリティの構築を助けるために他大学と協働しているか 左記の基準を満たすプログラムか演習を持っているか	
		成人向け教育課程のサステナビリティ	7	コミュニティのサステナビリティに関する成人向け教育課程のコースかプログラムを提供しているか 全成人向け教育課程の中で、サステナビリティに関連した、あるいは焦点をあてた成人向け教育課程の割合 成人向け教育課程や拡張された部署を通じて持続可能性に関連する修了証書のプログラムを持っているかどうか	
		コミュニティサービスへの参加	6	幅広い参加の方法が大学にあるかどうかなど、コミュニティで学生団体を従事させているか 全学生の中で、コミュニティサービスに参加している学生の割合	
		コミュニティサービスの時間	6	多くの学生がコミュニティサービルの時間を費やす大学かどうか 全学生の中で、年間平均20時間以上コミュニティサービスに参加している学生の割合	
		サステナビリティの政策提言	4	公共政策提言を通じてサステナビリティを推進しているか キャンパスサステナビリティをサポートする国、都道府県、地方行政の公共政策を提唱しているか	
		卒業の誓約	0.25	将来の仕事や他の決定について社会や環境への責任を考えるための学生の誓約を通じて卒業生の誓約を管理しているか	
		成績証明書のコミュニティサービス	0.25	大学が、学生の成績証明書についてコミュニティサービスの成果を含んでいるか	
		ファーマーズマーケット	0.25	大学が地域でのファーマーズマーケットを主催しているか	

STARSの評価項目 (Planning, Admin. & Engagement)

- EXISTING UNIVERSITY BUILDINGS
- FUTURE DEVELOPMENT
- UNIVERSITY DISTRICT BOUNDARY

FUTURE POTENTIAL DEVELOPMENT





- PSU Buildings
- PSU Housing
- PSU Parking Structures
- Existing Private Buildings
- MAX Line
MAX Stops
- Street Car Line
Street Car Stops

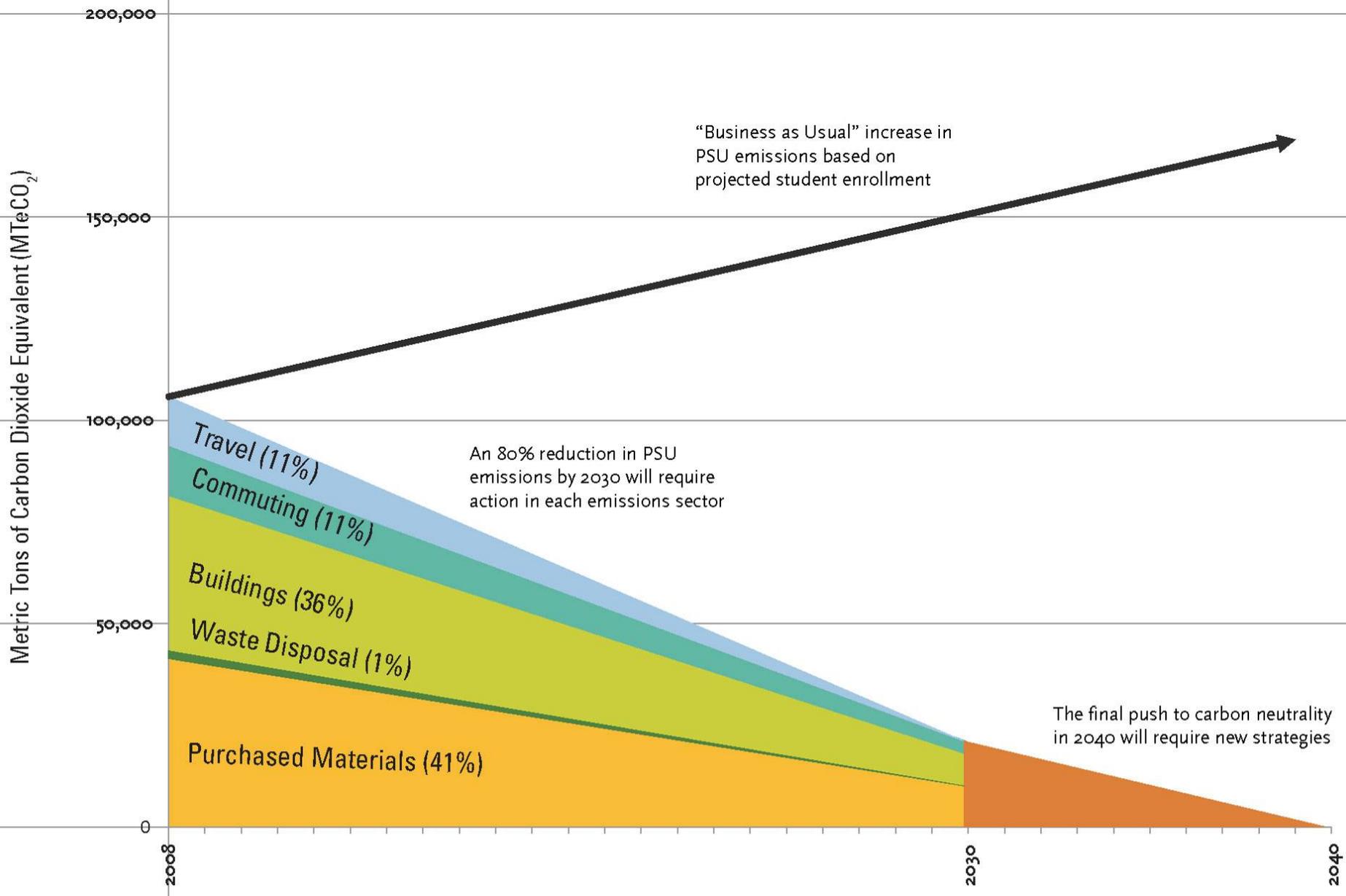
UNIVERSITY DISTRICT BOUNDARY

キャンパスと地域が一体で開発されている。大学のポートランド市、また民間企業との連携が緊密。大学が不動産経営を実施する。そのような体制をとる理由のひとつとして、University District(大学地区)において、その60%の不動産が大学の所有であるが、残りの40%が民間の所有であり、地区総体としての発展を目指すとき、大学+民間+行政の連携を行いながら開発を行っている。



CLIMATE
ACTION
PLAN 2010

Emissions Reduction Goal & "Business as Usual" Emissions Projection



Ongoing Efforts

PSU has already undertaken actions that support the effort to reduce emissions associated with building energy usage. These projects must be continued to reach the goal of climate neutrality by 2040.

FAP=施設部
CSO=サステイナビリティオフィス
AUXS=補助サービス

Ongoing Activity/Program	Lead Office	Program/Activity Age (years)	Target
Steam loop efficiency upgrades	FAP	2	#3
Central deployment of power conservation settings for all desktop computers and network printers based on findings from Human Resources pilot	OIT	1	#1
Lighting upgrades in housing buildings	AUXS	2	#3
Energy conservation competition (a pilot project in the Broadway Housing Building)	CSO, Res. Life	0.5	#1
Achieving LEED Silver or better for all new buildings and major renovations	FAP	6	#5
Case study on integrating “smart grid” technologies at the PSU campus	CSO	1	#1
Utility data consolidation project, including energy use in leased space to increase accuracy of GHG inventory	CSO, FAP, AUXS	1	All
Campus utility metering assessment and installation	AUXS, FAP, CSO	0.5	#1
Nighttime energy audit pilot with scorecards for building occupants	CSO, FAP	0.3	#1
Investigation of bundling and selling BETC credits	CSO, FAP	0.1	#2

・建物ごとの電力メータ等の設置が課題になっている。



STARS v1.0

- EDUCATION & RESEARCH
- OPERATIONS
- PLANNING, ADMINISTRATION & ENGAGEMENT
- INNOVATION

[Expand All](#)[Collapse All](#)

Portland State University

Rating	Score	Submission Date	President's Letter
Gold	68.55	Feb. 11, 2011	Download

 Submission Boundary:

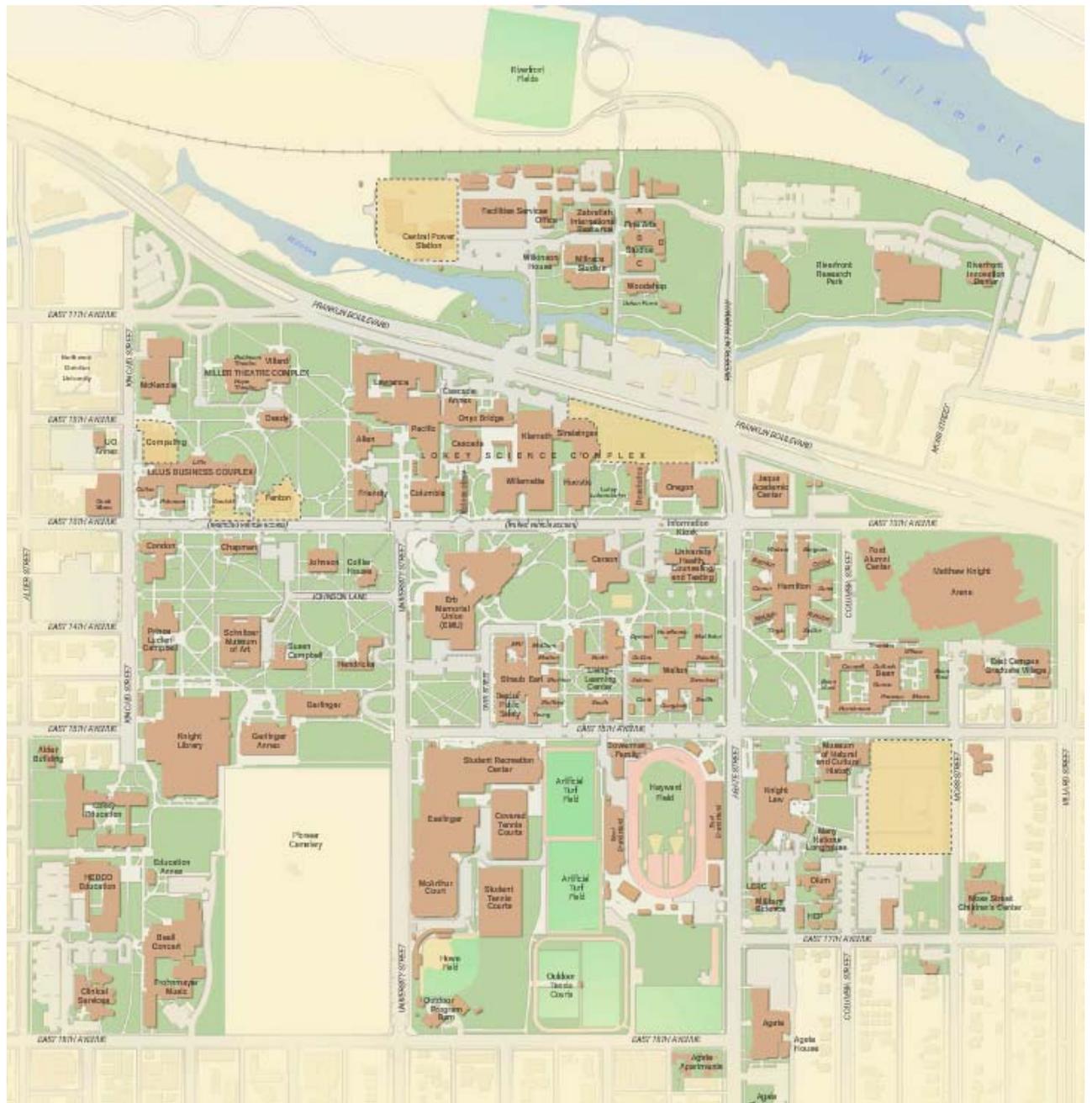
This submission includes all PSU owned and operated buildings. It does not include energy data from buildings that PSU leases from other entities.

On February 22, 2011, Portland State University requested that AASHE remove the following sentence, which was extraneous:

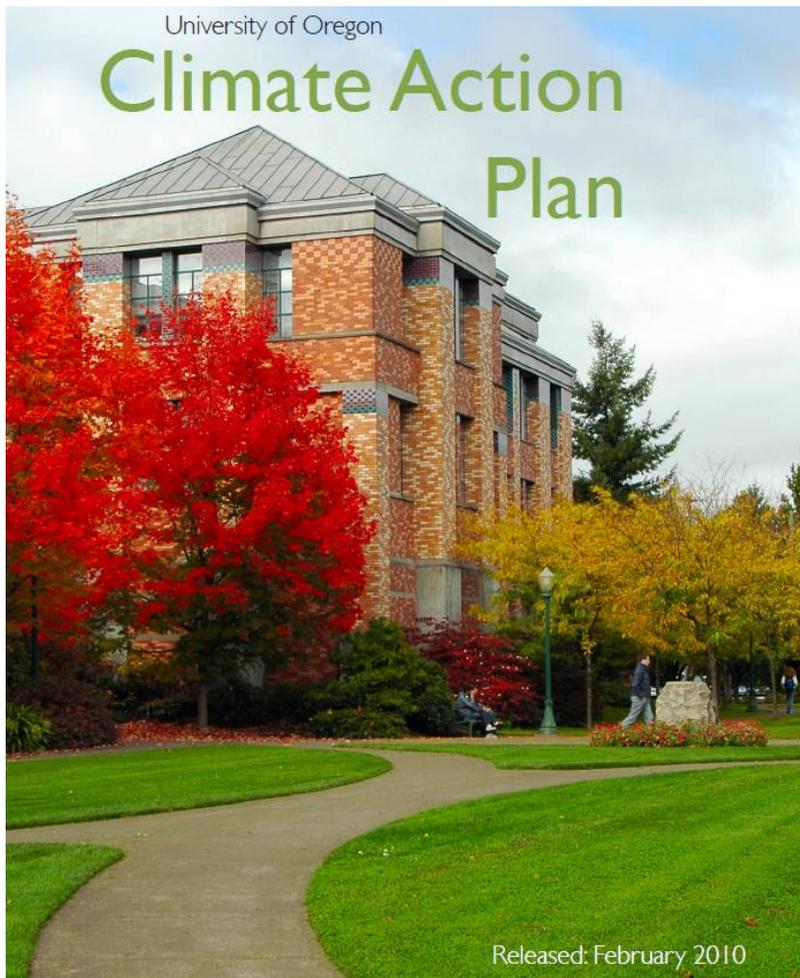
A utility manager was recently hired who will be able to help acquire and manage data from the few spaces we lease.

<input type="checkbox"/> Education & Research	79.03 % Score
<input type="checkbox"/> Operations	46.34 % Score
<input type="checkbox"/> Planning, Administration & Engagement	68.28 % Score

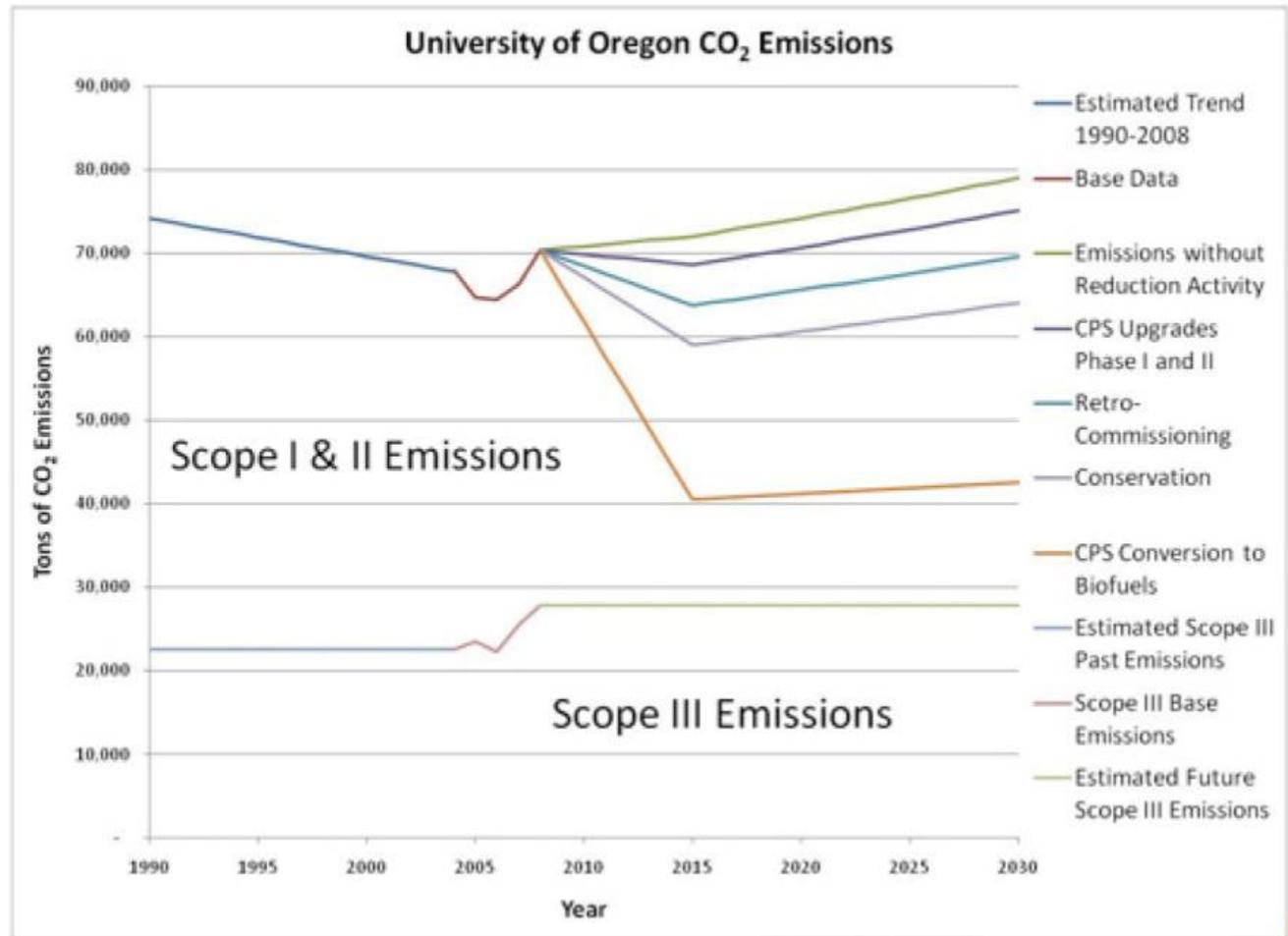
- 環境面での評価システムとしてSTARSを重視。米国全土の大学が参画している。海外からの参加も可能ではないか。参加費用は十万円程度。
- PSUは、ゴールドのグレードを獲得。STARSは、他の大学の情報を得ることができるし、それと比較したりして、さらに自分の大学が不足していることが何なのかをみつけることができる。



オレゴン州ユージーン市(人口約15万人)の東部に位置する。
キャンパスの広さは約1,194,000㎡。
学生数は約23,000人(大学院生を含む)。



- ・ **Climate Action Plan** は、その実行計画であり、キャンパスの運用管理、施設サービス、計画、駐車場運営、交通計画、居住施設計画、食料サービス、他の適切な分野が含まれる。
- ・ さらに、Climate Action Planは、教育に関しても要求がある。サステナビリティに関する教育を適切に発展させるように教員と職員が連携し、カリキュラムとカリキュラム外の連動する活動を検討・企画するシステムがある。
- ・ 「サステナビリティ・カンファレンス」というオレゴンシステムに加入している大学が参加するシンポジウムを企画している。特に、学生のリーダーシップを高める取り組みである。



3

- ・ 2010年より温室効果ガスの排出削減の実施
 - ・ 2020年：1990年と比較して10%の削減
 - ・ 2030年：気候変動に向かわない中立な状況の達成
- ▼
- ・ そのために、サステイナブル・ディベロップメントのオレゴンモデルを構築する

- ・ 米国のサステナビリティの
会合であるAASHE
(Association for the
Advancement of
Sustainability in Higher
Education)、及びヨーロッパの
同様の会合であるISCNに参
画している。
- ・ STARS(AASHE)が行ってい
るサステナビリティに関する
トラッキングと報告のシステ
ムを使って、大学のサステイ
ナビリティ活動の向上を目指
している。
- ・ オレゴン大学はSTARS の
silverを獲得している。

The screenshot displays the STARS website interface. At the top, it identifies the program as AASHE and provides navigation links for 'About', 'Get Involved', 'STARS Institutions', 'News & Events', and 'Reporting Tool'. The main content area is titled 'University of Oregon' and features a table with the following data:

Rating	Score	Submission Date	President's Letter
Silver	56.10	Feb. 25, 2011	Download

Below the table, a 'Submission Boundary' section states: 'This submission includes the University of Oregon's main campus in Eugene (including all auxiliaries), the Oregon Institute of Marine Biology in Charleston, Oregon, and the UO Portland campus.'

A detailed score breakdown is shown below:

Education & Research	46.82 % Score
Operations	37.03 % Score
Planning, Administration & Engagement	72.45 % Score
Innovation	4.00 Innovation Points

A disclaimer at the bottom reads: 'The information presented here is self-reported and has not been verified by AASHE or a third party. If you believe any of this information is erroneous, please see the [process for inquiring](#) about the information reported by an institution.'

- サステナビリティ活動の向上を研究、教育、運営、サービスの4つの部門で図っている。同時に、それらの部門について計測できる目標値を開発している。
- サステナビリティに関わる研究、教育、運営、地域コミュニティの参加に関わる項目のデータを収集している。